



## 手のあたたかみ

先日、内視鏡検査を受けてきました。過去にも受けたことがありましたが、口から管を入れられ、体の中を管が通っていく違和感、気持ちが悪くなり管を吐きたくなるとても苦しいものでした。

そんな時、看護師が「大丈夫ですよ。もう少しですよ。」と言いながら、優しく背中をさすってくれていることで、苦しさ、気持ちの悪さも大分緩和されていました。「天使の手」と思えたほどでした。医師も同じように声をかけてくれていましたが、直接、背中をさすっている看護師の手にはかないません。手をそえることで、気持ちも伝わりやすくなることを実感しました。

時代は、AI化が進み便利になっています。しかし、どんなに機械化されても、人の手のあたたかみには、かないません。

児童・生徒の指導においても、言葉をかけたり、表情豊かに示したり、手をそえたりすることを大切にして、心のこもった指導に努めていきます。

(検査結果は良好でした。これからも元気に頑張ります。)(山賀)

